

104-62

問題文

客観的な危険が存在しないのに、急な不安に襲われ、動悸、呼吸困難、めまいなどの自律神経症状を伴い、通常30分以内に症状が改善する不安神経症はどれか。1つ選べ。

1. 全般性不安障害
2. 外傷後ストレス障害
3. 強迫性障害
4. パニック障害
5. 解離性障害

解答

4

解説

選択肢 1 ですが

全般性不安障害は、状況にかかわらず漫然とした不安が持続する神経症です。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

外傷後ストレス障害は PTSD ともいわれます。強烈な体験の後に、再体験（当時の記憶、感情がありありと思い出されること）等の症状が継続することです。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

強迫性障害は、不合理な行為、思考を、意に反して反復してしまう症状です。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は妥当な記述です。

選択肢 5 ですが

解離性障害は、自分が自分であるという感覚が失われている状態（解離状態）を主とする病気です。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 4 です。

類題